教育かわら版

こんにちは教育委員会です

ふたたび

No.１６０
令和３年１１月２６日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

冬が来ました

コロナの感染状況が落ち着いてきていることを実感できるようになりました。もっとも海外ではヨーロッパ、アジアいずれも感染拡大の様子も報道されており、本格的な寒さを迎えるこれからも感染予防対応に気を引き締めなければならないと認識しております。

諸用で東京、東北を訪れてまいりましたが、いずれの地もマスクの着用は見渡す限り１００％でしたし、人と人との間隔や検温、手指消毒に関しては厳格でした。メディアで見る海外の様子とはちょっと違うかなとみていました。

雪が降りました。

この時期はいわゆるブラックアイスバーンになりがちですし、夕方からは景色も黒く見えづらい時間帯が多くなります。あらためて交通安全、防衛運転に留意を。そう自分に言い聞かせております。



役場駐車場やオランダ通りの木々が紅葉し鮮やかだった１０月末。

２週にわたって週末を彩っていただいた今金町総合文化祭芸能発表、展示発表。合わせて１５５０名の町民の方々にご来場いただき開催できました。

今金町文化協会、第５２回総合文化祭実行委員会の皆様に感謝です。

今金っ子わくわくフェスティバル
今金エッセイ（作文）コンテスト

11月7日（日）





読書と作文のまちプロジェクトチーム・学校・家庭・地域・行政・プロの作家、写真家、音楽家が一体となって春から進めてきた「第２回今金エッセイ（作文）コンテスト」表彰式、「としょぽ（読書手帳）」表彰式でスタートした『今金っ子わくわくフェスティバル２０２１』は天候にも恵まれ、１１月７日（日）に開催されました。







この形となって２回目。テーマや文字数の規程のあるエッセイ（作文）を町内の小学校１年生から高校生・一般まで募りました。特別審査員を含め段階を踏んでの審査を経て、入賞作品の表彰式迎えることができました。

最優秀作品には映像と音楽（ハープ演奏）を重ね、プロジェクトチームのメンバーによる朗読で紹介いただきました。

コロナの状況が落ち着いてきた今年は、初めてご来賓にも案内を差し上げました。お出でいただいた方々はどの様な感想を持たれたでしょうか。来年度の３回目に繋げていきたいと考えております。

初めてだった昨年度は学校の先生方も、「どんなものになっていくのだろうか」と想像しながらのご指導だったと思います。今年は各学校長ににプロジェクトの担当者を、校務分掌と同じ位置づけでお願いできました。テーマもプロジェクトの方々に選定いただきました。ほぼ全ての児童生徒から作品をいただきましたし、８０代、９０代の町民の方々からもご応募いただけました。感激です。

４月から７か月かけて進めてきたコンテスト。学力・人間力の向上を目指す『読書と作文のまち』の新たな表出が形付いてきたとしたらうれしいです。



当日は今金町青年会議、今金高等養護学校、檜山北高等学校、今金町スポーツ推進委員会さん含め１２ものブースをご提供いただけました。

ステージでは絵本写真作家・小寺卓矢先生、ハーピスト更科理恵先生、おなじみマザーズぽけっとさんの演奏発表や読み聞かせ会、そして Mr.アパッチさんによるパフォーマンスショーも行われました。また来年の活動が楽しみです。

時間をかけての取組、ありがとうございました。



